

衣ではなく、あなたがたの心を引き裂け。あなたがたの神、主に立ち返れ。主は情け深く、あわれみ深い。怒るのに遅く、恵み豊かで、わざわいを思い直してください。

ヨエル書 2章13節

イスラエル王国が分裂して約1000年経ち、民は徐々に真の神から離れ、墮落の一途をたどっていました。その時神は、もはや黙っていることはできない、何とか「わたしのもとに立ち返ってほしい」と、「エホバ（ヤハウエ）は神」という名の預言者ヨエルを遣わされました。いなごの害という自然災害の厳しさを通して、神のさばきの事実を語り、「主の日・その日」を意識しつつ、すさまじい迫力で悔い改めを迫っています。ヨエルは、すべての人々に聖霊が降り、つい

に主の支配がシオン全体に及ぶことを展望しています。暗黒に始まり、栄光のうちに終わっている預言ですが、その根底には常に主への真実な「悔い改め」があることを、本書を通して教えられます。まず「長老・祭司たち」に悔い改めを迫っています（1・2・13）。社会全体が腐敗しているとしか言えない現在も、悔い改めるべきは、まずはクリスチャンたちからだ・・・ということでしょう。そして、その悔い改めが表面的ではなく「心を引き裂く」真実なものであるように

と叫んでいます（2・13）。さらにヨエルの叫びを聞くと、彼らが悔い改めないなら、それは、神の御名が汚されることになるのだということが分かります（2・17 後半）。悔い改めず、いい加減なクリスチャンで居続けることは、その人だけの問題ではなく、クリスチャン全体・神の御名が汚されることになるのです。

厳しく対峙しているヨエルですが、すべての人々への聖霊の注ぎの約束を預言し、「主の御名を呼び求める者はみな救われる」という希望を私たちに与えてくれています。

今の世界に日本に、神は何という名まえで、何を叫ぶ預言者を必要とされているでしょうか。

■8月16日 礼拝出席者数 報告

(重複出席者数は除いています)

第1礼拝 27名

第2礼拝 43名

小学科礼拝 小5名 中高2名

■支援献金募集 九州南部等豪雨災害

支援金を受け付けています。被災地域、被災者の方を覚えて祈りましょう。また、これから台風シーズンを迎える日本各地が守られるように祈りましょう。

■キリスト教宿泊施設・キャンプ場のためにお祈りください

コロナ禍で日本各地のキリスト教宿泊施設やキャンプ場は、主催キャンプ、各教団・教会のキャンプなどがまったく行えずに経営状況も厳しく、働きの継続が危ぶまれる施設もあります。霊修会などで私たちも利用した軽井沢恵みシャレーは秋に営業終了が決まりました。

先日は、奥多摩バイブルシャレーに献金をしました。困難の中にある団体や働き人を覚えてお祈りください。

・今年も酷暑が続く8月。まだまだ残暑が続くようです。高齢の方、お体に弱さを抱えている方々が特に守られるようにお祈りください。

■次週 礼拝説教箇所「ハガイ書」

ハガイはバビロン捕囚から帰還し、エルサレムを再建する人々を励ました預言者です。2章3節の記述から、彼自身が前の神殿を見たことがあるとするならば、ハガイ書のメッセージは彼が80歳頃に語ったものと思われれます。エルサレムに帰還はしたものの、日々の生活を送ることで精いっぱい。神殿再建には手が回らないと考える人々に、神中心の生活を促し、神殿再建を励ましました。

■教会メールアドレス

zion@am.wakwak.com

メールには必ずお名前をご記入ください